



〒364-0003 北本市古市場 1-36
 TEL/FAX 048-591-5762
 携帯 090-8848-8465
 Email tatsumi3@gmail.com
 URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>

1965年北本生まれ。
 北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。
 三国コカ・コーラボトリング入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。
 衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在2期目。

北本を消滅させない！

安心・安全なまちづくり
 財政の健全化
 行政改革の推進

日頃よりあたたかいご支援をいただきありがとうございます。12月議会は、「北本市手数料条例の一部改正について」や「平成30年度北本市一般会計補正予算（第3号）」などを審議しました。

【平成30年12月議会トピックス】

○議請第6号 公共施設の維持管理に関する請願について

本請願は、公共施設の老朽化に伴う改修の必要性を訴えたものです。北本市内では、昭和46年に市制施行してから、多くの公共施設が人口の増加とともに市民要望として整備されてきました。現在、それらの公共施設が老朽化により、さまざまな問題が発生しています。

今回の請願では、北部公民館の現状が述べられています。具体的には、今夏の災害ともいえる異常な猛暑が連日にわたって続く中、冷暖房機の室外機が故障して機能不全になり、スポットクーラーで応急処置をしました。このまま利用者に耐えろというにはあまりにも過酷な状況です。市の姿勢として、利用者の健康への配慮から冷暖房機を利用できる状態として整備することを求めています。

市内の公共施設においては、コミュニティセンターや勤労福祉センター等においても同様な状況であり、早急な改善が求められるところです。

現在、公共施設等総合管理計画により、今後の施設の老朽度合いや発生する維持管理費用を予測し、計画的に施設の修繕や適正な配置についての全体的な方針を決定しているところです。

この計画の中で、方針の一つとして施設の長期活用を掲げています。それによれば、定期的な点

検・診断と情報の蓄積を行い、今までの損傷や故障の発生に伴い修繕を行う「事後保全」から、事前に使用不可能な状態を避けるための「予防保全」に転換し、計画的な施設保全の実施と長寿命化の取り組みを実践することになっています。このことから、使用不可能になる前に適切な対応が求められます。

いずれにしても、市民が安心・安全に施設を利用できることが何より大事なことです。そのような対応が行われるか注視していきたいと思えます。

○平成31年度予算編成の状況

平成31年度の予算編成方針は次の通りです。

- 1 第五次北本市総合振興計画に掲げる施策の着実な推進
- 2 人口減少に対応するためのリーディングプロジェクトの実行
- 3 北本市財政計画に基づく健全な財政基盤の確立

平成31年度当初予算編成にあたり予算要求段階では、一般会計において、歳入予算要求額が約202億円であるのに対し、歳出予算要求額が約216億円となっており、約14億円の財源不足が生じています。今後、調整のうえ平成31年度予算が提出されます。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

1. 久保特定土地区画整理事業について

（問）第五次総合振興計画前期目標値の66.1%に対して何%まで達成できるのか、また、平成37年度の事業完成に対して何%まで達成できるのか。

（答）それぞれの達成につきましては、厳しい状況であると考えております。今後、遺跡の方針が定まった際には、予算の確保、事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

（問）区画整理地内には2,000人が住んでいる。この人たちがどのように考えているのかが一番重要ではないか。

（答）見直しが必要な場合は、権利者の方々の意見を伺いながら見直しをしてまいりたいと考えております。

事業の何%できるのかという明確な答弁はありませんでした。その理由が、デーノタメ遺跡の方針が定まらないからということです。その方針を速やかに意思決定するのがトップの役割だと申し上げました。

2. 健康増進について

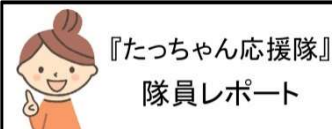
（問）1万歩運動については、男性の40代、50代の参加者を増やすことが重要と考えるが。

（答）今後はふだん忙しくてなかなか事業に参加できない働く世代をいかに取り込むかが鍵と考えています。

（問）成果を上げるためには、無関心層に的確に働きかけ、全体として参加者を増やすことが必要

と考えるが。

（答）口コミなどにより健康に関する



『たっちゃん応援隊』
隊員レポート

平成の時代もあとわずかとなりました。‘平成バブル’‘平成不況’と景気も目まぐるしく変化し、社会も超高齢化の時代を迎えました。北本市は消滅可能性都市にリストアップされ、人口減少対策は常に各議会の注目案件だったように感じます。

ただ、北本市は元気な高齢者が多い！ということも強みではないでしょうか。知識が豊富で、健康への関心も高く、そして北本にとって何が一番大切かという問題意識を持って行動される方がたくさんいます。新時代こそ北本市の転換期ではないかと、期待！

情報を広く周知するなど、参加者の裾野の拡大に努めてまいります。

1万歩運動は、健康長寿優秀市町村表彰式で、埼玉県知事より2年連続で表彰されました。大変すばらしいことです。引き続き、成果の見える健康づくりに取り組んでいただきたいと思います。

3. 西武ライオンズとの連携協力に関する基本協定について

（問）ベースボール体験に招かれたコーチは元選手だった。現役選手を呼べないのか。

（答）フレンドリーシティ向け事業では、現役選手は派遣の対象となっていません。市が独自で実施する事業なら可能だと思います。

（問）埼玉西武ライオンズのファームの試合を開催し、試合前に各種団体がパフォーマンスを披露したり、物産展を開催したりできないか。

（答）球団から野球場内のグラウンド整備の不良箇所、フェンス塗装の劣化、選手控え室の確保など複数の問題点について指摘を受け、現状では難しいという見解が示されました。

（問）武蔵ヒートベアーズで同様な試みができないか。

（答）先方からは、今後も幅広く本市のまちづくりに積極的に貢献していきたいとの意向を示されています。

株式会社西武ライオンズとの連携協定は、県内63市町村中35の市町が結んでいます。ありきたりの対応をしていたのでは、その中に埋もれてしまいます。そうならないように、北本市として積極的に事業に取り組むよう指摘しました。

【あとがき】

平成31年第1回定例会は、2月20日（水）から3月18日（月）の予定です。今後も皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。

